

本文

絶句 杜甫

〔白文〕

江碧鳥①逾①白
山青花②欲②然
今春③看③又過
何日是④帰④年

〔書き下し文〕

江碧にして鳥①逾よ白く
山青くして花②然えんと欲す
今春③看又過ぐ
何れの日か是れ④帰年ならん

※読みの確認：江（こう）／碧（みどり）／逾よ（いよいよ）／然えんと欲す（もえんとほつす）／看（みすみす）／又（また）／何れの日（いつれのひ）／是れ（これ）／帰年（きねん）。「然」は「燃」と同じ意味で使わ

れています。

設問

次の各問いに答えなさい。傍線部①～④は本文中の位置を示しています。

- この詩の形式を、漢字四字で答えなさい。
- この詩の形式について、次の問いに答えなさい。
 - 一句が何字で構成されているか、漢数字で答えなさい。
 - 全部で何句から成るか、漢数字で答えなさい。
- この詩で押韻している漢字を、本文中からすべて抜き出さなさい。
- 近体詩で、五言絶句が押韻する位置の原則を、簡潔に説明しなさい。
- 第一句「江碧鳥逾白」について、次の問いに答えなさい。
 - この句を書き下し文に直しなさい。
 - この句を現代語訳しなさい。
- 傍線部①「逾」について、次の問いに答えなさい。
 - 読みを、送り仮名を含めて現代仮名遣いのひらがなで答えなさい。
 - 意味として最も適切なものを次から一つ選びなさい。(ア ～を飛びこえて イ ますます・いつそう ウ はるか遠くに エ かえって・逆に)
- 「江」とあるが、この詩がよまれたとき杜甫が住んでいた町はどこか。最も適切なものを次から一つ選びなさい。
 - ア 都の長安 イ 黄河ぞいの洛陽 ウ 蜀の成都 エ 江南の蘇州
- 第二句「山青花欲然」について、次の問いに答えなさい。
 - この句を書き下し文に直しなさい。
 - この句を現代語訳しなさい。
- 傍線部②「欲然」の「然」について、次の問いに答えなさい。
 - 「然」とここで同じ意味を表す漢字一字を答えなさい。
 - 「花が然えんとす」とはどのような情景をたとえた表現か、簡潔に説明しなさい。
- 「欲然」の「欲」は「～んと欲す」と読む。ここでの意味として最も適切なものを、次から一つ選びなさい。

- ア ～したいと願っている イ 今にも～しそうだ ウ ～しなければならない エ ～させようとする

11. 第一句と第二句に用いられている表現技法を何というか。漢字二字で答えなさい。また、第一句のどの語が第二句のどの語と対応しているか、一組挙げなさい。

12. 第一句・第二句では、色彩の対比があざやかである。詠みこまれている（または連想される）色を、四つ挙げなさい。

13. 第三句「今春看又過」について、次の問いに答えなさい。

- この句を書き下し文に直しなさい。
- この句を現代語訳しなさい。

14. 傍線部③「看」について、次の問いに答えなさい。

- 読みを現代仮名遣いのひらがなで答えなさい。
- 意味として最も適切なものを次から一つ選びなさい。（ア 大切に見守るうちに イ 見ているうちに、なすすべもなく ウ 病人を看病しながら エ よそ見をしているすきに）

15. 第三句の「又」の一字には、作者のどのような思いがこめられているか。説明しなさい。

16. 第四句「何日是帰年」について、次の問いに答えなさい。

- この句を書き下し文に直しなさい。
- この句を現代語訳しなさい。

17. 傍線部④「帰年」の意味として最も適切なものを、次から一つ選びなさい。

- ア 故郷へ帰ることのできる年 イ 故郷へ帰り着いた年 ウ 新しい年のはじめ エ 人生の晩年

18. 「何日是帰年」に用いられている句法として最も適切なものを、次から一つ選びなさい。

- ア 使役 イ 受身 ウ 疑問（詠嘆をふくむ） エ 比較

19. この詩の前半二句と後半二句では、詠まれている内容が大きく変わる。それぞれ何を詠んでいるか、簡潔に説明しなさい。

20. この詩全体の主題（作者が表現しようとしたこと）として最も適切なものを、次から一つ選びなさい。

- ア 春の行楽のたのしさ
- イ 美しい春景色とは裏腹の、故郷に帰れない嘆きと望郷の思い
- ウ 戦地に向かう友人との別れのつらさ
- エ 年老いていく身の上をなげく気持ち

21. この詩がよまれたころの杜甫の境遇として最も適切なものを、次から一つ選びなさい。

- ア 科挙に合格し、都で高い位についていた
- イ 安史の乱の戦乱を避けて、故郷を遠く離れた成都に身を寄せていた
- ウ 皇帝のお供で各地を旅していた
- エ 故郷に帰り、静かな隠居生活を送っていた

22. 作者の杜甫について、次の問いに答えなさい。

- 杜甫が活躍したのは、唐のどの時期か。最も適切なものを次から選びなさい。(ア 初唐 イ 盛唐
ウ 中唐 エ 晩唐)
- 杜甫はその詩風から「詩○」と呼ばれた。○に入る漢字一字を答えなさい。
- 杜甫とともに「李杜」と並び称された詩人は誰か、答えなさい。

23. 杜甫の作品を、次から一つ選びなさい。

- ア 『春暁』(春眠暁を覚えず) イ 『春望』(国破れて山河在り) ウ 『静夜思』(牀前月光を
見る) エ 『涼州詞』(葡萄の美酒夜光の杯)